



豊かな水を求めて

山王海ダムと親しむ湖水フォーラム

今年で八回目となる「親子ふれあい研修」は、国営事業で造成された山王海・葛丸ダムと附帯する頭首工、幹線水路などの農業水利施設の果たす洪水防止、防火用水、景観形成といった多面的機能をより広く、より多くの方々に理解して頂くため、毎年趣向を凝らし企画実施しております。

昨年から「川を知る会」との共催により、小繰舟を復元した「ごんべえ丸」を山王海ダムの湖面に浮かべ、ダム完成までの歴史や水の大切さなどを紙芝居により説明しております。小繰舟とは、江戸時代に北上川の舟運に使用された舟で、盛岡市から北上市の間を主に米を積んで航行しておりました。

先人の大変な苦勞により完成した「平安の湖」山王海ダムに、江戸時代の小繰舟が浮かぶ情景に、古のロマンを感じております。

(関連記事は十一ページ)

土地改良区の概要

平成22年
11月1日現在

受益面積

3,830 ha

組合員数

2,863 名

新理事長就任挨拶



山王海土地改良区

理事長 高橋 勘一

今年の稲の収穫作業も既に終り、日毎に寒気加わる時節となりました。組合員の皆様におかれましては、ご健勝で日々の農事に励んでおられますことをお慶び申し上げます。

日頃は、山王海土地改良区の農業農村整備事業を始め、業務運営に特段のご協力を授かっていますことに心から感謝申し上げます。

この度、任期満了による、理事の改選が行なわれ、先の互選によりまして、非才非力ではありますが、わたくしが理事長に

就任することになりました。

組合員の皆様には深甚なるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年産水稻の作況指数が九月十五日現在、岩手県では一〇四の「やや良」と発表され、豊穣の秋を迎えることができました。しかし、米の需給バランスが大きく崩れ、JAの概算金が昨年より平均ベースで約二十五%下回り、稲作農家にとって抱かせるものであります。

当土地改良区としては、各関

係機関と協調しながら救済策の運動に参画していく所存であります。併せて、国が約束しております米戸別所得補償モデル事業の根幹である、定額部分（一〇a当り一五、〇〇〇円）と変動部分（過去三年平均の単価を下回った場合の差額補償）の完全実施を切望するものであります。

土地改良区は、定款と維持管理計画書（知事認可）を根幹に、規約・諸規程に準じ業務を遂行しております。運営に当っては、原則を重んじ、公平さを心掛けることに傾注して参る所存であります。

財務につきましては、一般経常賦課金と国、県、市町からの恒常的な補助金、助成金、更に緊急的課題が生じた場合は折々に支援をお願いしつつ事業を展開しております。しかし、近年は財政的に厳しい現況下においてスムーズな支援が難しくなっております。より一層に無駄を省

いて効率的な運営に努めて参りたいと思っております。

当土地改良区管内の農業農村整備事業は、昭和五十三年から始まった葛丸、山王海両ダム等の造成がなされた関連で実施された大区画ほ場の造成、農業用排水路、農道整備等の県営事業が、本年度中寺林（土地総一〇二・四ha）、来年度南日詰地区（基盤整備八九・三ha）の経営

体育成基盤整備事業を以って、当初から計画しておりました事業は終了することになります。おおよそ三十五年間の長期間に亘り、巨額の投資がなされました。この間、多くの人々の努力、尽力に深甚なる敬意を表するものであります。県営事業等で整備された管内では、水田経営所得安定対策加入者の集積率が六十%以上となり株式会社、有限会社、集落営農組織、個人担い手と時代に即応した農業経営体が誕生し、将来に向かって力強く始動しております。土地改良

区としては、これらの経営体を支援する為にも農業用水の安定的な供給、施設の長寿命化への対応等に、関係機関のご支援を受けつつ尽力するものであります。

更に、ダム、農業用水路、水田の持つ多面的な機能を啓蒙する、「親子ふれあい研修」「動物と共生する森を創ろう」などのイベントを実施しておりますが、より一層充実強化を図っていく所存であります。

大変厳しい水田農業の時代を迎えておりますが、課題を役職員が共有し、尚一層に一丸となり、豊かな農業農村の構築に向けて業務運営に努めて参りますので、今後共一層の協心戮力をお願い申し上げます。

最後に、日を追うごとに寒さが厳しくなって来ます。組合員の皆様におかれましては、ご健勝にて、営農活動に精進されまことをご祈念申し上げます。挨拶といたします。

平成二十二年 度

第一 回臨時総代 会開催

— H 22 ・ 8 ・ 4 —

二十一年度決算ほかを決定
任期満了による理事改選

平成二十二年 度第一 回臨時総 会は、去る八月四日（水）午前 九時より当土地改良区二階会議 室において開催されました。

総代理員五十名中全員の出席 のもと、高橋勘一 番理事が開 会を宣し、高橋公一 理事長が挨拶を申し述べた。

次いで議長選出を諮った結果、 第六区（赤石地区）高橋貞信総 代が選出され、議事録記名人に は第三区（不動地区）細川正彦 総代、第七区（石鳥谷地区）板 垣正博総代が指名され、議事に 入った。

〔審議決定された議案内容〕

第一号議案 平成二十一年度事 業報告並びに財産目録の承認 について（別掲参照）

第二号議案 平成二十一年度一 般会計収入支出決算の承認に



議長を務めた高橋貞信総代

ついて（別掲参照）

第三号議案 平成二十一年度特 別会計収入支出決算の承認に ついて（別掲参照）

第四号議案 平成二十二年 度一 般会計収入支出第一次補正予 算について

平成二十一年度決算に伴う 補正と平成二十二年 度受託料 の確定による増額補正が主な 内容。

第五号議案 平成二十二年 度特 別会計収入支出第一次補正予 算について

平成二十一年度決算に伴う 補正が主な内容。 以上五議案について原案どお り可決決定され、午前十一時四

十三分、玉山昌可二番理事が閉 会を宣し終了した。

役員（理事）選挙執行

平成二十二年八月十九日 をもって任期満了となる役員（理 事）選挙が総代会の当日、午前 十一時より議事を中断し、執行 されました。

選挙結果は次の通りです。

投票数 五十票
有効投票数 四十九票
無効投票数 一票
投票率 一〇〇%
（敬称略）

● 当選十票

松崎 健一 紫波町

● 当選八票

北條喜久男 紫波町

● 当選七票

小田中雅則 紫波町

● 当選七票

高橋 勘一 紫波町

● 当選六票

板垣 幸壽 花卷市

● 当選六票

玉山 忠孝 花卷市

● 当選五票

渡邊 長治 花卷市



満場一致で全議決を可決



挨拶を述べる高橋理事長



新理事紹介

八月四日開催の総代会において当選され、八月二十日就任、同日初理事会を開催し、理事長の互選、理事の順位及び各担当を決めた。
その結果は次の通りです。

理事長

高橋 勘一（再）（六三歳）
紫波町南日詰字梅田一〇一番地



◆理事 長 高橋 勘一

◆担当

総務担当理事 板垣 幸壽

管理担当理事 渡邊 長治

” ” 松崎 健一

” ” 小田中雅則

” ”

◆委員会委員長

事業委員会 松崎 健一

評価委員会 北條喜久男

換地評価委員会 玉山 忠孝

水利委員会 渡邊 長治

◆役員総代協議会長

総務協議会 板垣 幸壽

事業協議会 渡邊 長治

三番理事

北條喜久男（再）（六一歳）
紫波郡紫波町土館字金田二九番地



五番理事

松崎 健一（再）（六七歳）
紫波郡紫波町小屋敷字京田五九番地



六番理事

小田中雅則（新）（五七歳）
紫波郡紫波町片寄字朴田八番地三



七番理事

玉山 忠孝（新）（六八歳）
花巻市石鳥谷町八幡第二二地割
四四番地二



二番理事
渡邊 長治（再）（六十歳）
花巻市石鳥谷町大興寺
第四地割四番地



会議開催状況

（平成二十二年四月～十月）

『理事会』

- ◆平成二十二年四月十六日（金）
一．事業委員の委嘱について
他九案件
- ◆平成二十二年五月二十五日（火）
一．換地業務委託契約について（南日詰地区）
他四案件
- ◆平成二十二年六月十五日（火）
一．土地改良調査計画委託事業
業広域農業基盤整備管理調査「北上地域」山王海（二期）地区事後評価調査業務委託について
他六案件
- ◆平成二十二年七月十二日（月）
一．花巻公共下水道管布設工事に伴う協議について
他五案件
- ◆平成二十二年七月二十六日（月）
一．財産差押について
二．平成二十二年第一回臨時総代会提出案件について
- ◆平成二十二年八月二十日（金）
一．山王海土地改良区定款第一

- 一八条の規定による理事長の互選について
他六案件

- ◆平成二十二年九月十四日（火）
一．補助監督委託業務の契約について（中寺林地区）
他四案件

- ◆平成二十二年十月二十二日（金）
一．補助監督委託業務の契約について（南日詰地区）
他三案件

『監事会』

- ◆平成二十二年四月十六日（金）
一．監査計画について

- ◆平成二十二年六月二十四日（木）
会計監査

- ◆平成二十二年七月十三日（火）
一．総合監査の日程について

- ◆平成二十二年七月十三日（火）・十四日（水）・十六日（金）
総合監査

- ◆平成二十二年九月二十九日（水）
会計監査

退任挨拶



山王海土地改良区
前理事長 高橋公一

この度、任期満了による理事改選期にあたり八月十九日の任期を以って理事を退任いたしました。

顧みますと、昭和六十一年に理事に就任し、平成十四年八月からは、理事長の重責を務めさせていただきました。この二十四年間に互り、組合員を始め、多くの関係機関や先輩の方々から頂きましたご指導とご支援に敬意と感謝を申し上げます。

又、国営事業により山王海ダム、葛丸ダムが完成し、奥羽山脈から流れ出る清らかな水を満々と湛え、地域農業の発展と水争いのない「平安」の基盤が確立されたのであります。この両ダムは水に対する先人の深い思いと、幾度の苦難を乗り越えての完成であります。その努力に改めて敬意と感謝を申し上げます。

改良区は農業用水を管理することで地域を創ります。地域は人を創り、人は水を守る。水を中心とした文化こそが国の礎であることを我々は忘れてはならないと思います。

近年は、各事業予算も大変厳しく、土地改良事業費も大幅に減額となり、運営も苦勞が絶えない状況ですが、各関係機関とも連携を保ち組合員の負担軽減に努力されますことを念願いたします。

最後に組合員皆様のご協力、各関係機関のご指導とご支援に改めて敬意と感謝を申し上げます。

誠にありがとうございます。今後は皆様よりご教示を受けましたことをお伝え出来れば幸いです。以上を以って退任の挨拶といたします。

ご苦勞様でした 理事改選による退任理事

この度の理事改選により、高橋公一理事長、玉山昌可理事の二名が退任されました。

高橋公一理事長は、昭和六十一年八月から六期二十四年間の長期に互り、換地評価委員長、事業協議会長、総務協議会長を歴任され、平成十四年からは第五代理事長としてご活躍なされました。

玉昌可理事は、平成十八年八月から一期四年間、事業協議会長を務められ、土地改良区の運営にご尽力いただきました。

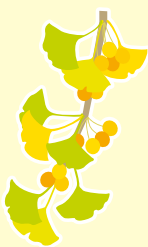
退任されます二人の方々には、深く感謝申し上げますと共に、今後、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

紫波町農業委員会委員に

松崎健一理事

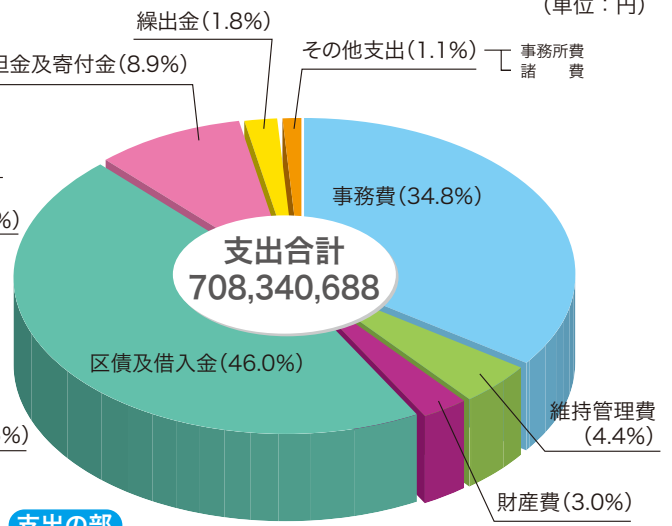
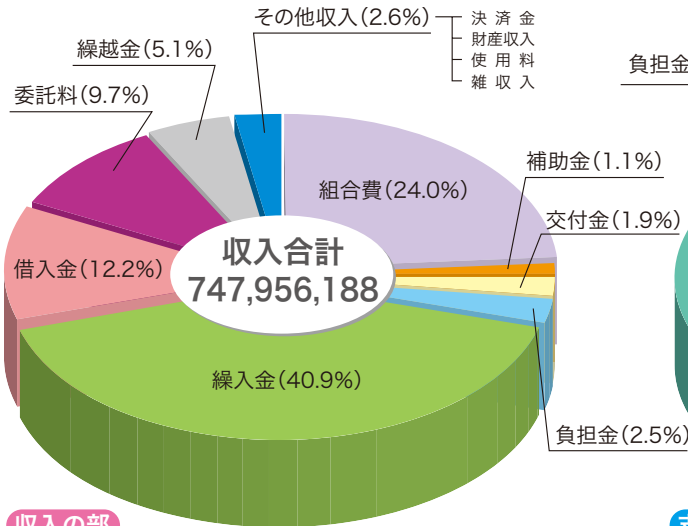
当土地改良区理事の任期満了に伴う、紫波町農業委員会団体推薦委員について、八月二十日の理事会において協議し、高橋勘一理事長に代わり松崎健一理事を推薦、就任いたしました。

(任期 平成二十三年七月十九日)



平成21年度決算報告 一般会計

(単位：円)



収入の部

款	決算額	予算額	比較増減
組合費	179,175,674	183,287,616	△ 4,111,942
補助金	8,149,400	8,150,400	△ 1,000
交付金	13,833,000	13,833,000	
決済金	5,640,540	3,000	5,637,540
財産収入	1,546,132	151,000	1,395,132
使用料	7,146,589	5,130,018	2,016,571
雑収入	5,363,584	12,594,478	△ 7,230,894
負担金	18,870,647	18,870,647	
繰入金	306,241,667	306,244,667	△ 3,000
借入金	91,009,000	91,009,000	
委託料	72,533,250	72,533,250	
繰越金	38,446,705	38,446,705	
収入合計	747,956,188	750,253,781	△ 2,297,593

支出の部

款	決算額	予算額	比較増減
事務費	246,209,368	250,161,925	△ 3,952,557
選挙費		1,000	△ 1,000
事務所費	2,666,287	2,911,037	△ 244,750
維持管理費	30,879,284	31,980,300	△ 1,101,016
新規土地改良事業調査費		1,000	△ 1,000
財産費	21,539,669	21,542,669	△ 3,000
区債及借入金	325,530,613	325,530,613	
負担金及寄付金	63,009,358	63,213,958	△ 204,600
補助金		1,000	△ 1,000
諸費	5,880,159	6,367,679	△ 487,520
繰入金	12,625,950	12,625,950	
災害復旧事業費		1,000	△ 1,000
予備費		35,915,650	△ 35,915,650
支出合計	708,340,688	750,253,781	△ 41,913,093

収入支出差引残金 39,615,500円は次年度へ繰越

平成21年度特別会計 収支決算

(単位：千円)

地区名	項目	収入の部					計	支出の部					差引残金
		賦課金	雑収入	繰入金	その他	繰越金		繰入金	管理費	諸費	その他		
償還会計		1,383	164	88		1,564	3,199	55		55	借入金 1,528	1,638	1,561
南野原県ぼ		480	28			999	1,507	146	320	26		492	1,015
山王海県ぼ(51)			612			1,043	1,655	1,043				1,043	612
水分県ぼ		33,990	718	3,000		2,794	40,502	14,779		2,105		16,884	23,618
水分第二県ぼ		11,334	190	1,500		1,005	14,029	4,395	297	21		4,713	9,316
赤石第一県ぼ		26,672	392	7,500	借入金 4,850	4,096	43,510	11,114	953	38	借入金 4,257	16,362	27,148
赤石第二県ぼ		32,122	2,490	10,000		6,213	50,825	43,899	1,769	705		46,373	4,452
紫波中央県ぼ		10,367	526	6,000		1,475	18,368	13,702	500	40		14,242	4,126
上平沢県ぼ		9,916	768	10,000		1,372	22,056	19,923	250	36		20,209	1,847
土館県ぼ		8,445	514	3,100		732	12,791	11,199	512	21		11,732	1,059
宮手稲藤県ぼ		7,808	206			3,551	11,565	8,582	641	20		9,243	2,322
上台大下通県ぼ		3,572	47	600		848	5,067	3,868	150	2		4,020	1,047
八幡東部県ぼ		5,845	3,599	500		1,428	11,372	5,789	502	1,000		7,291	4,081
南日詰県ぼ		8,771	10,090			560	19,421	8,585	350	258		9,193	10,228
県営土地総黒西		5,614	2,444			4,691	12,749	5,674	651	76		6,401	6,348
県営土地総南寺林		4,203	144			3,503	7,850	3,600	452	13		4,065	3,785
県営土地総中寺林		5,371	37			1,112	6,520	4,700	200	204		5,104	1,416
維持管理事業				8,172		8,172					事業費 8,172	8,172	0
土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業					借入金 141,610	141,610	141,610	141,605		5		141,610	0
地区名	項目	補助金	助成金	繰入金	雑収入	繰越金	計	事業費	事務費	諸費	予備費	計	差引残金
農地有効利用支援整備事業		7,128	2,881	4,365	1		14,375	14,259	116			14,375	0

平成21年度 財産目録

(平成22年5月31日調整)

資産の部

摘 要	金額 (円)
I 流動資産	
1. 現金及び預金	143,595,309
(1) 現金	0
(2) 預金	143,595,309
一般会計	39,615,500
特別会計	103,979,809
2. 未収入金	22,859,067
(1) 一般会計	12,113,922
(2) 特別会計	10,745,145
小 計	166,454,376
II 特定資産	
1. 積立金等 (関係農協預金)	507,693,977
(1) 基本財産	12,240,517
(2) 役員退職手当引当金見返預金	4,953,565
(3) 職員退職給与引当金見返預金	71,239,586
(4) 庁舎維持管理費積立金見返預金	14,116,250
(5) 維持管理事業決済金積立金見返預金	29,981,001
(6) 県営事業分担金決済金積立金見返預金	3,492,028
(7) 財政調整基金積立金見返預金	197,922,717
(8) 用地補償金積立金	1,083,734
(9) 施設敷取得補償金積立金	2,941,018
(10) 農林漁業資金決済金積立金見返預金 (特別会計)	1,895,791
(11) 県営事業工事費繰上償還金積立金見返預金	18,500,935
(12) 特別会計積立金 (土地買収費その他)	149,326,835
2. 出資金	1,470,000
(1) 農林中央金庫	820,000
(2) 岩手県信連	120,000
(3) 岩手中央森林組合	430,000
(4) 岩手中央農協	100,000
小 計	509,163,977
III 固定資産、その他	
1. 土地	8,545,912
2. 建物	198,780,500
3. 工作物	10,500
4. 機械器具	19,186,386
5. 備品	32,922,383
6. その他 (部分林等植栽、立木)	44,780,434
小 計	304,226,115
資産合計	979,844,468

負債の部

摘 要	金額 (円)
I 長期負債	
1. 農林漁業資金借入金	361,734,762
2. 平準化資金借入金	668,543,000
3. 水田・畑作経営所得安定対策等支援資金	236,051,000
小 計	1,266,328,762
II 短期負債	
1. 役員退職手当積立金	4,953,565
2. 職員退職給与積立金	71,239,586
3. 庁舎維持管理費積立金	14,116,250
4. 維持管理事業決済金積立金	29,981,001
5. 県営事業分担金決済金積立金	3,492,028
6. 農林漁業資金決済金積立金 (特別会計)	1,895,791
7. 県営事業工事費繰上償還金積立金	18,500,935
小 計	144,179,156
負債合計	1,410,507,918

(別表)

特別会計積立金

地区名	(10) 農林漁業資金決済金見返預金	(11) 県営事業工事費繰上償還金見返預金	(12) 積立金	地区計
南野原県ほ	-	-	4,810,200	4,810,200
水分県ほ	132,495	615,129	491,007	1,238,631
水分第二県ほ	117,235	325,680	288,412	731,327
赤石第一県ほ	618,002	2,004,501	8,858,152	11,480,655
赤石第二県ほ	358,806	1,909,573	23,887,696	26,156,075
紫波中央県ほ	-	377,977	35,733,767	36,111,744
上平沢県ほ	25,368	2,037,863	53,620,000	55,683,231
土館県ほ	51,678	453,917	10,465,864	10,971,459
宮手稲藤県ほ	-	-	1,648,433	1,648,433
上台大下通県ほ	31,235	-	7,275,936	7,307,171
八幡東部県ほ	-	7,153,793	2,247,368	9,401,161
県営土地総黒西	165,008	1,452,305	-	1,617,313
県営土地総南寺林	395,964	2,170,197	-	2,566,161
合計	1,895,791	18,500,935	149,326,835	169,723,561

平成21年度 事業報告

(平成22年5月31日調整)

一 地区及び組合員の状況

	平成20年度	平成21年度	増	減
地区面積 (ha)	3,840	3,834		△ 6
組合員数 (人)	2,875	2,866		△ 9

二 事業の状況

1. 維持管理費を以って支出した経費の状況

項 目	事業費(円)
幹線水路に要する経費	12,974,093
用水管理センター	3,626,605
水利調整組合運営補助金	2,302,920
水門・水路監視等に要する経費	3,953,952
地域用水に要する経費	1,763,089
適正化事業負担金	1,392,300
会議費その他	2,734,325
合 計	28,747,284

2. 維持管理事業の概要

(1) 維持管理事業

工 事 施 行 地 区	事業費計(円)
10水利調整組合18件	8,172,150

(2) 農地有効利用支援整備事業

地区名	事業内容	事業費(千円)
八幡1区	農業用水中ポンプ、逆止弁更新及び電動弁整備 一式	1,932
八幡2区	農業用排水路整備 L=168.5m	1,890
石鳥谷9区	農業用排水路整備 L=52.5m	1,155
石鳥谷11区	農業用排水路整備 L=78.0m	1,764
石鳥谷12区	農業用水門整備 一式	1,743
石鳥谷14区	農業用排水路整備 L=77.0m	1,218
京田地区	農業用排水路整備 L=133.0m	1,575
油田地区	農業用水中ポンプ更新 一式	1,260
野沢地区	農業用水中ポンプの電動弁逆止弁更新 一式	1,722
合 計	9件	14,259

3. 基幹水利施設管理事業の状況

施設名	事業費(円)	事業内容
山王海ダム	24,802,000	点検整備費、施設管理費等
葛丸ダム	19,040,000	〃
稻荷頭首工	3,141,000	〃
葛丸頭首工	2,907,000	〃
合 計	49,890,000	

4. 国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)の状況

項 目	事業費(円)	事業内容	項 目	事業費(円)	事業内容
計画策定事業	500,000	計画書取りまとめ	強化支援事業	11,722,000	施設管理費、予防保全費助成
推進活動事業	1,000,650	親子ふれあい研修 (H21.9.27) 紫波町産業まつり出展 (H21.10.17~18)	事務費	586,000	
			合 計	13,808,650	

5. 農業用水水源地域保全対策事業の状況

項 目	事業費(円)	事業内容
普及促進対策	2,100,000	パンフレット作成 1,000部 案内板作成・設置(1箇所) 共生植林委託業務(NPO紫波みらい研究所) 草刈(2回) 平成の森植樹イベント(H21.10.11)
事務費	32,000	
合 計	2,132,000	

6. 県営土地改良事業の状況

事業名	地区名	事業費(千円)	事業量	H22年以降事業費	完了予定年度
経営体育成 基盤整備事業	南日詰	195,000	面工事 0.4ha、暗渠排水工 0.5ha 補助監督委託費、換地費、測量試験費等	140,319	H23
経営体育成 基盤整備事業	中寺林	149,714	排水路工 L=6,745m、暗渠排水工 4.89ha 補助監督委託費、測量試験費等	440,683	H22

三 事務の経過

各種会議の開催状況

会議名	回数	備 考	会議名	回数	備 考
総 代 会	2	第一回臨時総代会(H21.9.10) 通常総代会(H22.3.26)	監 査	12	総合監査(H21.7.28,29,31)(H22.1.26,2.2,3)
			水利委員会	1	3月
理 事 会	13	定例11回、臨時2回	事業委員会	1	3月
担当理事会	16	総務6回 管理10回	役員総代協議会	2	8月、3月
監 事 会	3	4月、7月、1月	滞納金検討会	1	12月

委員会名簿

任期満了により、各委員会委員の委嘱を行いました。

(任期：平成22年4月～平成24年3月末)

所属水利組合名	事業委員	住 所	備考	水利委員	住 所	備考
北 幹 線	谷 地 次 雄	紫波町小屋敷	再	吉 田 剛	紫波町南伝法寺	再
稲 荷 幹 線	菊 池 隆 志	〃 南伝法寺	再	小 網 勝 榮	〃 上平沢	再
宮手稲藤地区	渡 辺 幸 一	〃 宮手	再	西在家 民 夫	〃 上平沢	再
高 水 寺	加 藤 茂 夫	〃 二日町	再	渡 辺 泰 男	〃 宮手	再
野 沢	藤 尾 求	〃 平沢	再	築 田 稔	〃 平沢	再
中 央 幹 線	鎌 田 眞 逸	〃 北日詰	再	菊 池 良 二	〃 北日詰	再
平 沢	藤 沼 晃 正	〃 北日詰	再	佐 藤 正 浩	〃 平沢	新
中央幹線赤石	阿 部 博 光	〃 北日詰	新	阿 部 正 勝	〃 北日詰	新
南幹線上流部	阿 部 久	〃 土館	再	中 田 宏	〃 土館	新
志和地区南部	熊 谷 俊 孝	〃 片寄	再	畠 山 孝 也	〃 片寄	再
作 の 沢	畠 山 幸 男	花巻市石鳥谷町大瀬川	再	辻 村 勉	花巻市石鳥谷町大瀬川	再
片 寄 犬 渕	松 田 公 夫	紫波町犬渕	再	細 川 利 明	紫波町片寄	新
南野原(石鳥谷)	板 垣 賢 仁	花巻市石鳥谷町大瀬川	再	板 垣 昭 栄	花巻市石鳥谷町大瀬川	再
葛 丸 上 堰	高 橋 仁 吉	花巻市石鳥谷町大瀬川	新	高 橋 政 博	〃 北寺林	再
大 北	熊 谷 政 男	花巻市石鳥谷町大瀬川	再	高 橋 政 栄	〃 北寺林	再
山王海大興寺	佐々木 隆 司	〃 富沢	新	晴 山 民 夫	〃 大興寺	新
上 台 南 寺	藤 原 孝 雄	〃 大興寺	再	鎌 田 伊 惣 治	〃 南寺林	再
石 仏 幹 線	福 島 静 夫	〃 八幡	再	伊 藤 賢 治	〃 中寺林	新



山王海ダム管理事務所



葛丸ダム放流バルブ室
法面保護工事現場

本年四月に委嘱いたしました事業委員（委員長 松崎健一理事）・水利委員（委員長 小田中雅則理事）合同による研修会を十月二十九日に開催いたしました。

研修会では、各委員の役割や用水管理、現在実施中の事業内容を説明した後、山王海ダム、葛丸ダムの基幹水利施設、当土地改良区の受益地を隈なく現地踏査いたしました。

事業委員・水利委員 合同研修会

危険、不法投棄防止看板の 設置箇所を募集します。

管内の幹線水路及び周辺施設で危険な箇所やゴミの不法投棄のおそれがあると思われる箇所に看板を設置しています。

平成22年度までに約130箇所、看板を設置しました。

平成23年度も実施いたしますので、看板設置を要望したい方は、**12月20日**までに管理課管理係までご連絡ください。

尚、設置数に限りがございますので現地調査の上、決定いたしますのでご了承願います。



平成22年度土地改良事業発注状況

事業名	地区名	工種	数量	工事内容	施工業者	工期
維持管理事業	(6-3号) 片寄犬淵	排水路補修	34m	排水フリーム900×900型	(株)十文字組	H22.10.26～ H23. 3. 4
	(7-2号) 葛丸上堰	用排水路装工	53m	鉄筋コンクリートフリーム500×500型	(株)長澤工務店	H22.10.26～ H23. 3. 4

地域用水監視人

山王海土地改良区では、農業用水を使わない冬期（10月1日～3月31日）において、紫波町、花巻市の要望を受け、消防水利、家庭雑排水の希釈等、地域用水対策のため冬の間も水路に水を流し、監視人を配置して地域の環境保全に努めております。

監視区域	監視人氏名 (住所)	監視区域
第1区	野崎 嗣雄 (紫波郡紫波町北日詰)	・稲荷幹線（稲荷頭首工～稲荷幹線3号配水槽～八幡、馬場堰出口） ・中央幹線（中央頭首工～京田分水工～京田）
第2区	板垣 与治 (花巻市石鳥谷町大瀬川)	・葛丸幹線（葛丸頭首工～開拓分水～大瀬川分水） ・葛丸上堰（葛丸一の留～小屋場分水）
第3区	渡辺 良治 (花巻市石鳥谷町富沢)	・南幹線（大瀬川分水～富沢分水工～大興寺配水槽） ・石仏幹線（石仏頭首工～中寺八幡分水工～黒西取水口）

●平成22年度 特別会計賦課金の取扱いについてのお知らせ●

1. 平成22年度特別会計賦課金の納入期限及び口座振替期日について

本年度特別会計賦課金の納入期限及び口座振替期日は次のとおりです。

- **納入期限 平成22年12月27日(月)**
- **口座振替期日 平成22年12月27日(月)**

振替日前に
残高の確認を
お願いします！

2. 延滞金の徴収猶予について—米価下落対策により—

本年度の特別会計賦課金については、特例により**平成23年1月7日(金)まで延滞金の徴収を猶予**することとなりました。

※ただし、1月8日以降に納入した場合は、納入期限の翌日（12月28日）から納付した日までの日数で延滞金が計算されます。

3. 土地改良区賦課金収納窓口延長について

土地改良区では**12月27日(月)と1月7日(金)**に賦課金収納業務を午後7時まで延長いたします。日中に金融機関で納入できなかった方はご利用ください。

※土地改良区では、事情により金融機関での納付が困難な方には直接徴収も致しておりますのでご相談ください。

賦課金の納入は便利な口座振込をご利用下さい！

【問合わせ先】 総務課 賦課徴収係 (TEL 019-673-7311)

土地改良区の役割と水水の大切さ!

21世紀土地改良区創造運動

国営造成施設管理体制整備促進事業

水土里ネット山王海は、土地改良区の役割や農業用施設(ダム、水路など)の持つ多面的な機能を地域住民の方々に広くご理解いただくために、様々なイベントの企画及び参加をしております。

H22
9/26

親子ふれあい研修 山王海ダムと親しむ湖水フォーラム

昨年度に引続き、紫波町の「川を知る会」と共催し、木造船「ごんべえ丸」やゴムボートに乗船し、山王海の歴史やダムの必要性などを湖面の上で学習体験しました。

今年で第8回となるこのイベントに、管内の親子をはじめとより盛岡市からの参加者を含め76名の参加をいただきました。



湖面を活用した研修



施設研修



ダム湖へヤマメ・イワナの稚魚放流

10/3

農業用水水源地域保全対策事業

『動物と共生する森を創ろう!』

平成20年度から実施しています「農業用水水源地域保全対策事業」の一環として、山王海ダム上流にある「平成の森」での植樹イベントを開催しました。

このイベントはNPO紫波みらい研究所との協働により、トチ、クリ、ヤマボウシの苗木を植樹しました。当日は60名の参加者があり、植樹後、自然観察会、食育のお話、ダム施設見学を行い、水を育む森の大切さを認識いただきました。



紫波町産業まつい

10/16・17



第27回紫波町産業まつい(会場:サンビレッジ紫波)に出展し、パネル展示やクイズを行い、水土里ネットの役割を一般の方々へ紹介しました。

両日は、親子連れやお孫さん連れの方々、小中学生に大勢立ち寄っていただき、1500名を超える来場者となりました。来場者の中には、親子ふれあい研修などのイベントに参加された方も多くみられイベント写真を見て楽しんでいました。

今年は、山王海ダムや滝名川、用水路に住む生きもの(ヤマメ、カジカ、ヌマエビ等)を展示し、きれいな水の大切さをPRしました。また、エコバックや軍手、風船など水土里ネット山王海グッズを来場者に配り、当土地改良区のPRにも励みました。

発行者

水土里ネット山王海
山王海土地改良区

〒028-3441 岩手県紫波郡紫波町上平沢字川原田15番地
TEL:019-673-7311 FAX:019-673-7360
ホームページ: <http://www.sannoukai.jp>
メール: heian@sannoukai.jp

編集後記

今年の夏は、地球が壊れたかと思う程の猛暑が続き、人間の体はもとより稲作にも少なからず影響が出るのではと心配しておりました。作況指数は「一〇四」と豊穣の秋を迎えたかと喜んでおりましたが、品質の低下に加え米価の下落と組合員の皆様には、厳しい年となりましたことお見舞い申し上げます。

四月に新採用の職員、八月には新しい理事長を迎え、事務所も空気も変わりましたが、今までと変わる事無く組合員の負託に応えて参ります。
(か)